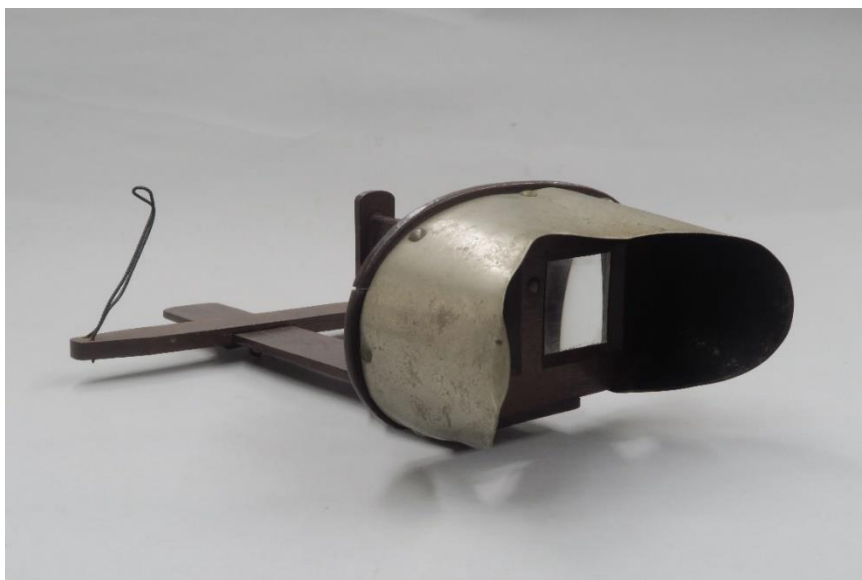


今月の一品 令和2年10月

双眼鏡



この道具はステレオビューワーとも呼ばれ、後の写真のようにセットして把手をもち目のところに当てると、画像を立体的に見ることができます。

収納されている箱の裏に書かれた文字やステレオ写真の裏面のスタンプから、これらは明治41(1908)年6月に大通りの藤田商店が入手したもので、当時は「雙(双)眼鏡」と呼ばれていたことがわかります。

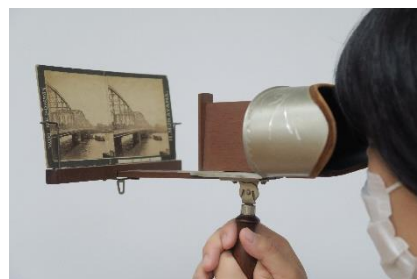
「時」が記されているだけで、資料の周辺状況がよりイメージしやすくなるのです。



このようなカードを差し込む



「双眼鏡」と書かれた箱



使用方法